

JATAツアーグランプリ2024

153作品から11作品が受賞

今回から国内・海外・訪日の3部門制に

日本旅行業協会(JATA)は11日、国内旅行・海外旅行で優れた企画旅行(登録型・受注型)・訪日旅行で実施された企画提案の中から優れた作品を表彰するツアーグランプリ2024の受賞者・作品を発表した。今回は応募153作品の中から11作品が受賞した。

ツアーグランプリは旅行業における企画力・マーケティング力の向上、観光立国の施策に寄与することを目的に設立された表彰制度。



受賞者と審査委員による記念撮影

「ツアーグランプリ2024」表彰式
「国内旅行部門」
「海外旅行部門」
「訪日旅行部門」
の合計3つの部門で表彰を行い、それぞれに「観光庁長官賞」「優秀賞」「複数賞」「審査員特別賞」複数の賞を用意する。最も優秀な取り組みに対しては、全応募の中から1点のみ「国土交通大臣賞」が贈呈され、今回は雨風太陽(東京都渋谷区)の「ポケマルおやこ地方留学」が受賞した。

雨風太陽

ポケマルおやこ地方留学



今回、応募作品の中で最も高い評価の「国土交通大臣賞」には、個人向けの旅行・食品関連サービスを展開する雨風太陽の「ポケマルおやこ地方留学」が選出。同社では、全国8千人を超える農家・漁師が登録するオンラインマルシェを運営する会社としてのつながりを生かし、農山漁村へ親子で滞在できるツアーを企画した。生産者の説明を通して食の大切さを学ぶとともに、コロナ禍で定着したリモートワークを組み合わせて親子一緒に地方留学できる内容となっており、生産者との関係構築や関係人口創出型の新しい旅行スタイルが高く評価された。

海外旅行部門

JTB

日韓ミライ♡プロジェクト ソウル4日間



同社が受賞した今回の作品は、若年層の海外渡航促進として企画。大阪観光局、韓国観光公社、JTB大阪教育事業部が連携し、学校や自治体が母体とならない募集型企画旅行として実現した。旅マエでは韓国についての勉強会やオンライン交流を、旅ナカではキャリア形成の意識付けを、旅アフェで現地の学生と日本人留学生との交流・研修を、旅アトではツアー参加者と韓国料理を食べながらの事後報告会を実施するなど、一連の流れとして組み立てたことが評価された。

国内旅行部門

JR東日本びゅうツーリズム&セールス

ケーjレス列車『わんだフルTRAIN』～愛犬と伊豆高原満喫の旅～



ペットを連れての旅行需要が増加している近年、鉄道の車内ではペットは「手荷物扱い」として、ケージレスでの乗車が困難となっていた。そこで同社は専用列車で愛犬と気軽に鉄道旅を楽しめるツアーを企画。座席で一緒にくつろげるほか、同行する獣医師からの健康に関する講義を受けるなど、愛犬家の心情的な需要創出につながる取り組みとして評価された。ツアーは非常に好評で、今年6月には第2弾も開催した。

訪日旅行部門

JTBグローバルマーケティング&トラベル

持続可能な観光実現に向けた「北陸レインボールート」構築による新たな訪日人流創出



北陸新幹線延伸で注目を集める地域を活用し、訪日外国人の分散化、ゴールデンルートの脱却を図るべく企画。自然や文化など、その地域特有の魅力を活かした体験できるプログラムを用意した点に加え、地域活性化への多大な貢献・旅行の高付加価値化の推進が期待される点も高評価につながった。東京―金沢―京都を巡る「マザールート」を起点に、地方を巡る「チャイルドルート」を充実させるというコンセプトは、今後も各地域での応用が期待されている。

国土交通大臣賞

観光庁長官賞

優秀賞

審査員特別賞

近畿日本ツーリスト

ARIA聖地巡礼ネオ・ヴェネツィアツアー



コロナ禍により中止となった再チャレンジャーツアー。大気質・インシニアス・ARIAのファンから多数の要望を受け、実現。4年にわたる関係客所との粘り強い交渉により、実施に至った点や、アニメ制作スタッフが登壇した特別パティの開催、作品に関連した体験のオプションツアーなど、個人旅行や一般的なグループ旅行では難しかった特別な体験を提供した点が評価された。

ジャルパック

赤ちゃんで行く沖縄の旅 3日間



同社は、赤ちゃん連れファミリーの不安を軽減するツアーを企画。機内で赤ちゃんが泣きだすことで、周囲の乗客に迷惑をかける不安を払拭し、機内後方に赤ちゃん連れの家族連れが安心して過ごせる旅を楽しむ環境を実現した。旅をより楽しく、新たな需要を創出する取り組みとして評価された。

日本旅行

シェフと旅する大自然グルメツアー



訪日旅行の目的の上位に上がる「食」をテーマに、北海道の豊かな自然と調和できるツアー。地産地消を推進し、北海道の大自然が育んだ豊かな食材の収穫体験、畑の中でのアウトドアランチ、和菓子作りをはじめとした日本食料理体験など、日本でも体験できないプログラムを組み込んだ点が高く評価された。今後さまざまな形の商品に派生することも期待されている。

近畿日本ツーリスト

バリアフリー旅仲間・黄葉のデナリ国立公園とオーロラ観測でチェナ温泉リゾートに宿泊するアラスカ・アメリカ9日間



障害を持った人々への対象としたツアー。LINEなどで旅の仲間を募ると、通常のとは異なる募集形態が注目を集めた。1年のうちわずかな期間しかないというアラスカの夏と冬の両方の魅力が楽しめる秋にツアーを設定した点や、ツアー内に組み込んだオーロラ観測を新月に合わせた点など、ツアーの組み立て方もしっかりと評価された。

エイチ・アイ・エス

手話通訳付き！羽田空港バリアフリー&JAL SKY MUSEUM・格納庫見学ツアー



聴覚障害を持つ人々が飛行機で旅に出る際に必要な情報を手話でサポートし、旅への不安を解消。さらなる旅への意欲をかき立てることを意識した企画。各種ユニバーサル対応関係者の協力を得ながら、空港内のバリアフリー情報、格納庫の見学などを、実証・聴覚障害がある参加者への旅の学びと楽しさを提供し、健全者との相互理解につながる実践的な活動も評価された。

ティ・エ・エス

日本訪問が初めての方も、リピーターも楽しめる春の日本列島横断ツアー



訪日外国人に人気の春の桜にスポットを当てた日本列島横断ツアー。日本が初めての人も、リピーターの人々も楽しめるようツアーを構成。本州の桜開花時期が分散するのに合わせて、定着の観光スポットから最新の観光スポットまで、バリエーション豊かな行程を組み込んだ点が高く評価された。今後さまざまな形の商品に派生することも期待されている。

三越伊勢丹ニッコウトラベル

三越創業350周年特別企画 アラン・デュカス監修メニュー・ベルサイユ宮殿晩餐会の旅(計16+1コース)



ベルサイユ宮殿を賞し、切に参加者の宮殿見学や、フランス料理の巨匠、アラン・デュカス氏監修の特別メニューを楽しむ晩餐会を開催。デュカス氏本人の登壇など、組み込み特別感を演出。旅マエでは「ベルサイユのばら」の作者・池田理代子氏にも協力を仰ぎ、ターゲット世代への販売促進も実施。計18本のツアーを催行したことも評価された。

観光庁コメント

国土交通省航空局航空ネットワーク部航空事業課長(前観光庁観光振興課長)

庄司 郁氏

現在は人事異動で別部署に転籍となっているが、今回は観光庁の立場で申し上りさせていただきます。

審査委員会コメント

国連世界観光機関 駐日事務所代表

本保 芳明氏

まずは、審査に協力いただいた審査委員の皆さま、そしてツアーアレンジメントに後援をいただいた国土交通省、観光庁さまに心から感謝を申し上げます。

国土交通大臣賞を受賞した雨風太陽さんの「ポケマルおやこ地方留学」は、親子をキーワードとして、リモートワークと農業・水産業を組み合わせたという点が大変ユニークだった。都市部と地方部との交流という、これからの課題に際する良い事例だと思う。

国内旅行部門の観光庁長官賞を受賞されたJR東日本びゅうツーリズム&セールスさんの「ケーjレス列車『わんだフルTRAIN』」も愛犬と安心して家族旅行で旅行できるようなことで、まさに愛犬家の課題に、彼らの胸に強く突き刺さったのではないかとと思う。

それから、海外旅行の観光庁長官賞を受賞されたJTBさんの「日韓ミライ♡プロジェクト ソウル4日間」。これは若い方々のキャリア建設を目指し、旅マエから旅アトまで一つの商品としているユニークな作品だった。韓国との学生との交流も含まれており、拝見して夢があると感じた。

また、新設された訪日旅行部門の観光庁長官賞を受賞された、JTBグループの「持続可能な観光実現に向けた北陸レインボールート」構築による新たな訪日人流創出は、必須の課題になっている訪日外国人の地方誘客に取り組んだという点で、非常に大事であると同時に、ある意味で「教科書的な移動」を提供しているとも見ることができ、面白く拝見していただけたと思う。

良い作品が並び、これらの選定作業は本当に苦労した。しかし非常に感動し、それを拝見してもアイデアに感動した。それ以上に共通して感じたのは、皆さんの観光人としての熱い情熱だ。これだけの情熱を持って観光・旅行商品を作っている方が、日本中の旅行業界にたくさんいるということを非常に心強く感じた。ぜひ、来年はさらに熱い情熱と新しい頭脳をもって素晴らしい旅行商品を生み出し、またこのツアーグランプリに挑戦していただきたいと思う。